



昭和十三年九月十一日、廿一日發行

臺灣總督府 臨時情報部

# 報部

昭和十三年九月一日

經濟戰強調週間の實施に就て  
(殖産局商工課)

東洋平和と國家總力戰  
(總務局長官)

經濟戰に處すべき島民の態度に就て  
(臺灣軍參謀長)

地方情報報  
(州廳臨時情報部)

海外情報報  
(臨時情報部)

華僑情報報  
(臨時情報部)

附錄 事變日誌

第三十六號

# てつ削を鎬の戦済經

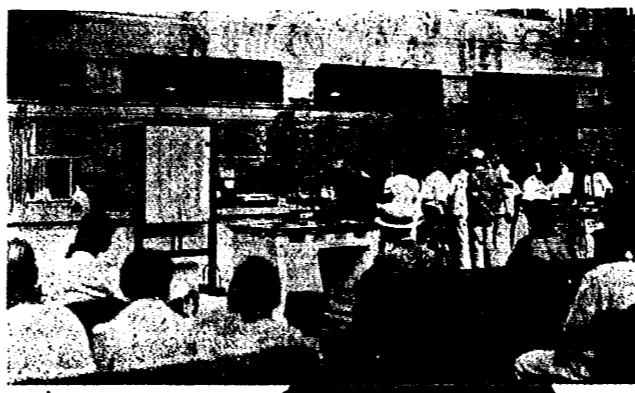


大陸に聖戦！國內に經濟戰！  
今日の戦争は砲煙みなぎる戦場  
だけが戦場ではない。銃を執り  
剣を振ふ人々のみが戦士ではな  
い。国土全體が戦場であり、銃  
後國民は經濟戰に奮闘する名譽  
の戦士である。

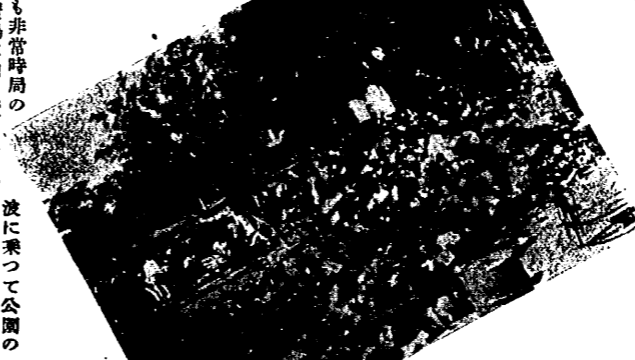
物質の消費節約  
ガソリン一滴は  
血の一滴！

街の一角に立つガソリンスタ  
ンドを守る乙女……只の一滴の  
ガソリンでも大切にせねばと……  
……國策に協力するその姿こそ男  
士の面影そのものである。斯し  
て銃後國民の協力節約したガソ  
リンは戦地に活躍する戦車、飛  
行機等の原動力となる。

**貯蓄の實行**  
八十億貯蓄！ 全国津々浦々まで貯蓄の  
征衣で身を固めんものと銀行の窓口に殺到  
する健後國民の力強くも頼母しき光景！



**廢品回收**  
臺所の隅に床下に投げ棄てられてあつ  
た一本の古釘も古  
銅もパテツ



**物質活用**



も非常時局の  
廣場に山と積まれた。やがて再生して第  
一線に活躍する精巧なる武器ともなる。

金銀運動に則り家賃の大列小列を、金  
を、さては指輪を、時計を、國家に献じ  
成は賣却しようと老も若きも陸續として

**生活の刷新**  
平常服で然も嚴肅に結婚式が行は  
れる。生活の簡易化こそ非常時局に  
ふさわしくも床しい生活刷新の魁で  
ある。



**物價騰貴抑制**  
個人の僅かな欲求から總力戦を忘れた  
悲哀的混亂！無自覚なる大衆の需要は物  
價を暴騰せしめ、國民生活を脅威する。



**生産の増進**  
産業戦線の大兵たる誇りと決意に  
燃えて非常時局労働者達は今や全能力  
をあげて長期戦を戦ひ抜く。



# 經濟戰強調週間の實施に就て

殖産局 商工課

## 一、趣 旨

支那事變は支那側の長期抗戦に拘はらず今や戦局の一大進展を見るに至つてゐるが、事變の前途は猶遠慮であつて、日、滿、支の緊密なる提携を實現し東亞永遠の平和を確立せんとする今次聖戰所期の目的達成の爲には官民一體、益々堅忍持久の覺悟を固め戰時態勢の確立に邁進しなければならぬ。之が爲には先づ全國民が國家總動員の經濟戰遂行に就き認識を深くすると共に覺悟を新にするの要切なるものがある。蓋し近代戦は國家總力戦であり就中經濟戦であるから、之に最後の勝利を收めんが爲には戰時態勢を確立し、國家總力の擴充飛躍の根基を確保しなければならぬからである。換言すれば、經濟戦の遂行は常に戰争目的達成を容易ならしむるのみならず國家總力の擴充が自ら實現せられ、東亞の安定勢力としての帝國の將來の飛躍を約束する所以でもあるからである。

斯る見地から本島に於ても去る八月二十二日より一週間、全島に亘つて經濟戦強調週間を實施し、全島民に對し如上の趣旨の理解、認識を求むると共に國家總動員の經濟戦の遂行上全島

民協力一致の實踐躬行を要請したのである。

## 二、實 施 方 法

經濟戦遂行の方法として

- (イ) 物資の消費節約
- (ロ) 物資の活用
- (ハ) 廢品の回收
- (ニ) 貯蓄の實行
- (ホ) 生活の刷新
- (ヘ) 物價騰貴の抑制に對する協力
- (ト) 生産の増進

の七事項に重點を置き全島民の實踐を促すこととし、之が具體的方法としては官公署、學校、會社、工場、團體、町會、部落等を單位として左記の如き經濟戦對處實踐項目の申合せ及び其の實行を極力全島民に勧奨することとした。

## 經濟戦對處生活實踐項目

- 一、綿製品、麻製品、毛製品は新調を差控ふること
- 二、皮革製品、ゴム製品は新調を差控ふること

- 三、金屬製品は新調を差控ふること
  - 四、紙の節約に努むること
  - 五、綿製品、麻製品、毛製品、皮革製品、ゴム製品、金屬製品、紙類の廢品、屑物等は死蔵することなく直に拂下ぐること
  - 六、住居の新築、改築を出來得る限り差控ふること
  - 七、石炭、ガソリン其他燃料の節約に努むること
  - 八、電力、電燈の節約に努むること
  - 九、冠婚葬祭の簡易化、贈答、宴會の自制其他一般生活の刷新緊縮を行ふこと
  - 十、金を政府へ獻納又は賣却すること
  - 十一、貯蓄を勵行すること
  - 十二、買占、賣惜み、買溜めを爲さざるは勿論價格、料金の引上を極力避くること
  - 十三、其の他以上に準ずる消費節約、廢品更生、貯蓄、物價騰貴抑制、生産増進等に付有效なる事項を實踐すること
- 而して上記の申合せ及び實行の勸奨を容易ならしむる爲め經濟戰強調週間を
- 第一日(八月二十二日) 物資の消費節約日
  - 第二日(同 二十三日) 物資活用日
  - 第三日(同 二十四日) 廢品回收日

- 第四日(同 二十五日) 貯蓄の實行日
  - 第五日(同 二十六日) 生活の刷新日
  - 第六日(同 二十七日) 物價騰貴抑制日
  - 第七日(同 二十八日) 生産の増進日
- の七日(デー)に分ち、専ら各州、廳をして經濟戰對處實踐項目の實踐躬行に就き宣傳に努めしむると共に都市に重點を置き宣傳の對象に依り實情に適する様特に工夫せしめ、上記實踐項目の實施方法等に就き一般に周知せしむることとしたのである。
- 尙之に資する爲め決定した經濟戰強調週間實施要領を掲記すれば左の如くである。

**經濟戰強調週間實施要領**

**一、物資の消費節約**

- 1 婦人團體、女學生等を動員し買溜防止及日常用品特に綿製品、麻製品、毛製品、皮革製品、ゴム製品、金屬製品の新調差控への徹底強化の爲有效適切なる宣傳を行はしむること
- 2 燃料及電燈の消費節約を圖る爲適切なる宣傳を爲すこと
- 3 ガソリンの徹底的消費節約を期し自動車の節用、運轉手の教育等に付有效適切なる方法を講ずること
- 4 事務用消耗品の節約上規格の検討、反古紙の利用等に付指導、宣傳を行ふこと



- 5 新品(代用品)使用の宣傳を強化すること
- 6 以上に關し生徒児童を通じ或はラヂオに依り將又ビラの配付を爲す等都市に重點を置き一般消費者特に家庭並に婦人を對象とし宣傳強化に主力を注ぐと共に各種刊行物を指導利用のこと
- 7 特に物資買溜の斷乎排除に努むること

二、物資の活用

- 1 死藏金の獻納又は賣却に關する宣傳の徹底強化に努むること
- 2 婦人團體、女學生等を動員し金物、毛織物、木綿物、紙等の死藏物或は廢物の利用又は拂下に付有效適切なる實踐方法を講ぜしむると共に之が宣傳強化に努めしむること
- 3 物資特に被服類及家庭用具品類の保存命數の延長、長期利用に付有效適切なる宣傳を行ふこと
- 4 以上に關し各種の機關を動員し或は適切なる方法を講じ宣傳強化に主力を注ぐこと

三、廢品の回収

- 1 重要物資の廢品(綿襪、綿屑、バルブ、人絹、ステール、フアイバー、セロファン、紙、綿糸布、蒲團綿等)毛襪、毛屑、羅紗、毛布、帽子等、紙屑、印刷用紙、包裝紙、紙袋等(古ゴム、再生ゴム、麻裏、防舷材等)屑鐵、鐵類、鉛屑、鉛地金、半田、活字、塗料顏料等)亞鉛屑、亞鉛地金、真鍮、洋銀、亞鉛末等)錫屑、錫地金、青

- 銅、半田等)銅、真鍮、青銅屑、銅地金、真鍮地金、青銅地金等)アルミニウム屑、アルミニウム地金等)廢油、機械油、回収に關し宣傳強化に主力を注ぐこと
- 2 廢品回収業者を統制的に動員し回収額の増加に努めしむること
- 3 各種團體等を動員し隨時或は定期的に一家一品獻納等の催しを行はしめ廢品回収の徹底強化を期すること

四、貯蓄の實行

- 1 冊子、ポスター、ビラ等を作成の上一般に配布すると共に町會、保甲會議、部落振興會等の諸會合(特に婦人團體)を利用し講演會を開催する等國民貯蓄獎勵の趣旨の普及徹底を圖ること
- 2 官公署、銀行、會社、工場、各種團體、町會、部落會等を單位とする貯蓄組合の新設普及を圖ること
- 3 既設の斯の種類似組合等に付ては其内容を整備充實せしめ積極的活動を爲さしむること
- 4 國債及貯蓄債券の購入を積極的に勸奨すること
- 5 各種金融機關をして貯蓄の勸奨に努めしむると共に出來得る限り貯蓄の便宜を圖る方法を講ぜしむること
- 6 各種金融團體、學校、教化團體、新聞、雜誌等を協力せしむること



## 五、生活の刷新

- 1 左記事項に付有効適切なる宣傳の普及徹底を図ること
    - イ、新調見合 統制物資（綿製品、麻製品、毛製品、皮革製品、ゴム製品、金屬製品等）は勿論生活用品は出來得る限り新調を見合せ有合にて間に合すること
    - ロ、新築、改築見合 鐵骨建築物は勿論一般家屋等も出來得る限り新築、改築を見合すること
    - ハ、贈答廢止 盆暮其の他の形式的贈答、時候見舞等は斷然廢止すること
    - ニ、行事簡素 冠婚葬祭等の家庭的行事は質素嚴肅を旨とすること
    - ホ、服装簡素 服装は簡素を旨とし吉凶其の他儀禮の場合出來得る限り平常服にても差支なきこととする
    - ヘ、宴會制限 宴會は必要已むを得ざる場合に限り且質素を旨とすること
  - 2 以上に關し有効適切なる各種の方法を講じ一般民衆の實踐の徹底を期すること
- ## 六、物價騰貴の抑制に對する協力
- 1 正札の勵行の強化徹底に努むること
  - 2 買占、賣惜み防止に付萬善の方策を講ずること
  - 3 價格、料金の引上を極力避くる様適切なる方法を講ずること
  - 4 買溜め防止、物資の消費節約に付宣傳の強化に努むること
  - 5 以上に關し各種團體等をして協力せしむること

## 七、生産の増進

- 1 新生品(代用品)使用の宣傳の普及徹底に努むること
  - 2 重要資源(例、棉花、苧麻、黃麻、苘麻等)涵養思想の普及宣傳を爲すこと
  - 3 物資需給統制の爲め生ずべき失業の一對策として新生品の生産或は販賣に付有効適切な方法を講じ或は宣傳を爲すこと
- 各州、廳に於ては夫々以上に基き地方々々の實情に適する宣傳方法を樹立し町會、保甲會議、部落振興會、各種團體特に婦人團體等を動員して官公署、學校、會社、工場、團體、町會、部落等を單位とする經濟戰對處實踐項目の申合せ及び其の實行の勸奨に週間中大に努め、多大の効果を收め得たことは感激に堪へない。望むらくは、今回の舉島一致の實踐躬行を單に經濟戰強調週間に於ける行事に終らしむることなく、全島民が今後も常に緊張して協力一致、國家總動員的經濟戰の遂行に萬全を期し、今回の經濟戰強調週間の實施をして意義あらしめ以て今次聖戰所期の目的達成に邁進して頂き度いと思ふ。

### 經濟戰強調週間講演會の開催

經濟戰強調週間實施の趣旨を廣く全島民に知悉せしめんが爲め之が實施に先ち殖産局主催の下に去る八月二十一日午後七時半より臺北市公會堂に於て「經濟戰強調週間講演會」を開催した。當夜聽衆をして大に感銘せしめた森岡總務長官並に田中臺灣軍參謀長の講演速記を次に掲げて讀者各位の御熟讀を切望して置く次第である。

## 東洋平和と國家總力戰

總務長官 森岡 二期

明日より全島に亘つて經濟戰強調週間が實施せられ、其の魁として講演會の開催を見るに當りまして、私は「東洋平和と國家總力戰」と題しまして聊か所懐の一端を述べてみたいと存じます。

支那事變勃發以來茲に一年有餘、其の間我が無敵皇軍は到る處連戰連勝赫々たる戰果を收めまして既に帝國領土に二倍する地域を占據し、北支には臨時政府、中支には維新政府の兩親日政府が樹立せられ、此の度の聖戰所期の目的であります處の我が日本を盟主とする東洋永遠の平和確立の一大偉業は今や着々として達成されつゝあるのであります。これは申す迄もなく御稜威の下、我が忠勇無比なる將兵の奮闘努力の賜でありまして私はこゝに全島民各位と共に陸海軍の將士に深く感謝の意を表しますると同時に、此の度の事變に於て名譽の戰死を遂げられた幾多の護國の英靈に對しまして衷心より哀悼の意を表し度いと存じます。

扱て我が皇軍の猛撃の前にはさしも近代裝備を誇つて居りました所の支那軍も施すに術なく敗戦に次ぐ敗戦の結果は奥地へ奥地へと遁走を續けつゝありまして、御承知の如く國民政府最

後の生命線とも謂ふべき漢口の陥落も最早や目前に迫つて居るのであります。國民政府は未だに迷夢より醒めず徒に列國の援助をたのみとしまして空虛なる長期抗日を唱へて居るのであります。

元來此の度の事變は名は支那事變であります。相手は必ずしも蔣政權のみではなく、其の背後には實に複雑多様、微妙なる國際間の利害關係がからみ合つてゐるのであります。茲に支那事變の重大性が横はつて居るのであります。従つて此の度の聖戰所期の目的たる東洋永遠の平和確立の爲めには斯る國々に對して飽く迄も毅然たる態度を以て臨むと共に東洋平和攪亂の元凶たる蔣政權の徹底的潰滅に向つて邁進するの外は無い譯であります。今申しました様な諸外國をして國民政府を利用したくても全然利用する事が出来なればかりでなく、北支の臨時政府或は中支の維新政府の如き親日政府と握手し、日本と相提携するに非れば在支權益の擁護も困難に陥ることになると云ふ事を充分認識せしむる必要に迫られて居るのであります。

世界各國の支那に對する態度や觀念を斯くの如く一變せしめ得て始めて始めて東洋の天地より暗雲が一掃され眞の平和が確立されるのであります。これは決して一朝一夕に爲し遂げ得る事柄ではないのであります。と申しますのは、御承知の通り支那は非常に廣大なる國であります。上に、自己政權の存命に汲々たる國民政府は我が皇軍の進撃に伴ひまして段々奥地へ逃げ込み首都を移しつゝありますので戰局は日と共に擴大されると云ふ狀況にあるのみならず、現在の複雑微妙なる國際情勢より見まして諸外國の支那に對する態度が今日急に一變して蔣政權か



一四  
ら離れると云ふ様な事は到底之を豫想する事が出来ないからであります。現に最近の滿ソ國境に於ける長鼓峰事件に思ひを致しましても、支那事變が其の背後關係と如何に密接なる關聯があるかと云ふ事實を容易に窺ひ知る事が出来るのでありまして、長鼓峰事件は我國の國際正義に立脚せる堂々たる態度と實力とによりソ聯を完全に屈服せしめまして幸に大事に至らずして彼我の間に停戦協定の成立を見るを得ましたけれ共、斯る事件は今後に於てもいつ何時再び突發するか測り知る事が出来ないと云ふのが支那事變を繞る現在の國際情勢であります。こゝに支那事變が長期戦とならざるを得ない根因があるのでありまして、島民諸君はよく此の間の情勢を認識して現下の事態に對處することが肝要であると思ふのであります。

抑も近代の戦争は單に戰場に於ける武力のみの戦ではありません。砲煙の漲る戰場だけが戰場ではないのであります。それは實に國家總力の戦でありまして、國家總力が敵國のそれに劣るものがあつた場合には如何に作戦に卓越せる能力を有し、又戰場に於ける將兵が世界に誇るべき勇猛心に燃え力戰奮闘致しましても、最後の勝利を收める事は到底困難なのであります。殊に戦争が長期戦となればなる程然りであります。

申す迄もなく戦争は勝つか負けるかであります。一旦戦争を始めたからには我々は如何なる困苦を忍んでも勝たなくてはなりません。敗戦國が如何に惨めな結果に陥るかは今を以て古今を通じて世界の歴史が充分に之を立證してゐる所であります。従つて戦争に勝つ爲にはよし砲彈の飛びかよう地域は海の彼方であらうとも我々國民は我が國土全體も戰場なりとの緊張した觀念を持

ち、我も亦戰士なりとの自覺の上に立つて國家總力の充實に一致協力致さなければならぬのであります。然らば國家總力とは如何なる事柄を意味するものと申しますと、これは今更ぬを費します迄もなく一國の武力と此の武力を遺憾なく發揮せしむる爲の經濟力並に國民の舉國一致の精神力との綜合力であります。而して此の内どの一つが缺けましても近代の戦争に於ては到底最後の勝利を獲得する事が出来ないものであります。就中我々銃後の國民として大に認識を新たにする必要のある事柄は國家の經濟力と戦争に勝たんが爲には如何なる困苦にも耐へ忍ぶと云ふ國民の精神力とが戦争を最後の勝利に導く上に於て如何に絶大なる影響力を持てゐるかと云ふ一事であります。殊に國家の經濟力の優劣が戦果に直接重大なる影響を及ぼす事は申す迄もない所でありまして、如何に武力に秀でて居りましても經濟力が之に伴はなければ武器を補充し供給する事が出来ない譯で、斯くては到底勝利を收め得ない事は明かな事柄であります。従つて戦時に於て國家の經濟力を充實する爲めには先づ何はさて措いても軍需資材の確保と云ふ一事に最大の關心を注がなければなりません。我が國は御承知の通り天然資源に恵まるゝ所比較的尠い國であります。軍需品の或る一部ものは勿論我々日常の必需品にしましても其の原料や材料を海外よりの供給に俟ちつゝあるものが決して尠くないのであります。故に軍需資材の確保を期する爲には國內に於ける之が生産力の擴充に専念すると共に之に要する原料や材料の輸入に努めなければなりません。ところが戦時に於ては平和産業が減退し其の輸出が不振に陥る事はどうしても免れ得ない所でありますから、勢ひ國際收支に不均

衝を來すと云ふ現象を招来しまして其の結果は軍需資材の輸入力を減殺すると云ふ事になりま  
す。萬一そう云ふ憂ふべき事態に到達致しました曉には結果はどう云ふ事になるでございませう  
か。これは申す迄もなく明かなる所でありませう。

茲に於てか政府は我が國の經濟體系の戰時體制編成替へを斷行致しまして各種の經濟戰統制  
を實施し極力軍需重要物資の確保に努めつゝあるのであります。併し乍ら如何に政府が斯る方  
針の下に國家經濟力の擴充に専念致しても國民が之に協力しなければ、到底其の成果を收  
め得るものでないのであります。國民各自がよく現下の事態を認識し政府の方針を支持して  
此の度の聖戰に有終の美あらしむる様覺悟を固くする所がなければならぬのであります。即  
ち戰時に於ける不急不要品は國民各自が互に相戒めて消費の節約に努むると同時に物資の活  
用、廢品の回收等に専ら意を用ひて政府の生産力擴充計畫に協力し、或は生活を刷新し極力貯  
蓄を實行して國家財政の健全化に寄與する等、凡ゆる方面に細心の注意を拂つて國家經濟力の  
充實に舉國一致努力しなければならぬのであります。

國民各自が斯くの如き協力一致の實を擧ぐるに至りますれば、それは直に物價騰貴の抑制に  
も効果を現はすこととなり、銃後國民の生活安定化に多大の好影響を齎すに至ることは明か  
でありますから、現下未曾有の非常時局は國民の覺悟一つで自ら打開されて行く譯でありませう。  
之が爲には一面、國民各自が日常不自由を來す様な場合のあるべきことは當然覺悟して  
ゐなければならぬ事柄でありまして、國家の大偉業完成の爲には如何なる困苦缺乏にも克く堪  
へ忍ぶと云ふ自覺を大に涵養する必要がある事は云ふ迄もない所でありませう。

戰場にある將兵は生命を的にして國家の爲めに、國家永遠の理想達成の爲めに日夜奮闘して  
ゐるのであります。國內の我々も亦如何なる困苦を忍んでも出征將兵の爲後顧の憂なからしめ  
る様に努める事は實に國民としての當然の責務であります。これは決して諸君が單に忍苦に堪  
へると云ふ事のみを意味するものではありません。之に耐へることによつて斯くの如き戦亂を再  
び東亞の天地に繰返さないが爲であります。第三國の野望を抑へ東洋永遠の平和を確立せんが  
爲であります。

我が帝國は皇統連綿、萬邦無比の國體でありまして、未だ嘗て一度も外國と戦つて敗れたこ  
とはないのであります。此の度の事變に於ても此の誇るべき光輝ある歴史を汚す事のない様我  
々銃後の國民が戰場に於ける勇士と一心同體となつて最後の榮冠獲得に一致協力邁進する事は  
次の時代を受け継ぐべき子孫に對する我々の責務であります。

我が國の經濟力は此の度の事變に際して未だびくともしない強大なる力を有して居ります。  
これは世界列強の齊しく驚嘆してゐる所であります。又銃後國民の熱誠振りも實に感激を禁じ  
得ないものがあります。併し乍ら我々は此の度の事變の重大性に思ひを致します時、決して目  
前の勝利に酔ひ、意を安んじてゐる事は出来ないのであります。

明日より全島に亘つて經濟戰強調週間を實施致しまして戰時經濟體制に對する島民諸君の新  
たなる自覺を促し、物心一如の國家總動員體制の整備に馳せ參じ、東洋永遠の平和確立と云ふ國  
家の大偉業完成に邁進せん事を全島民に訴ふるに至つた所以は實に此に存するのであります。  
何卒舉島一致御協力あらんことを切望する次第であります。

## 經濟戰に處すべき島民の態度に就て

臺灣軍參謀長

田 中 久 一

本島に於て明二十二日から經濟戰強調週間を實施せらるゝに當り、此の機會に於きまして軍として經濟戰に處すべき一般島民諸君に對する希望の一端を申述べたいと存じます。

世界大戰以來戰爭は國家總力の戰であるといふことが常識となつて居ります。即ち直接の軍備に併行しまして政治、外交、財政、金融、産業、貿易、運輸、通信を始め、警備、情報、宣傳などの凡ゆる部門が一途の國策に沿ふ如く各々平時から眞剣に準備せられ有事に臨んでは之が完全に統制運用せられることを以て、戰勝の絶対條件とせられて居るのであります。

軍に於ては固より武力を以て敵の武力を壓倒殲滅し或は要地を占領して敵の交戰意志を挫折せしむる如く努むるのであります。一方物心兩方面に於ける國家の全機能を動員集注して此の軍の武力を推進するにあらざれば完全に且つ迅速に戰爭の目的を達し得ないところに現代戰の一大特色があるのであります。

今日或は精神動員と云ひ或は人員動員、物資動員、財政動員、交通動員等と稱へ、政府及統後の國民が非常なる決意を以て戰時態勢の充實強化に努め戰爭に要する物資の充分にして圓滑

な補給をなし、又第一線將兵に常に新鮮にして潑刺たる精神的要素を注入しつゝありますのも實に現代國家總力戰の要求する必然の現象でありまして、我國の經驗しました過去の戰役に於ては未だ嘗て觀ざる所でありませぬ。

さて精神の動員、或は人員、物資、財政、交通等の動員は何れも皆其の重要性に於て甲乙はないのであります。今日の我國の實情に照し官民共に最も力を入れなければならないのは物資及財政の動員、言ひ換へれば經濟戰の遂行に在るのであります。

過去の戰役と違ひまして、現在の戰爭には作戰兵力が益々増加し、且つ其の裝備が愈々向上せられ、戰闘法も非常に複雑化したる爲に武器、彈藥、器材、被服、糧秣、衛生材料、陣中要品等の軍需品は實に莫大の數量に上るのであります。

最も簡単な一、二の例を申しますならば、以前は軍の主兵である歩兵の裝備としては一分間に五發か六發の彈丸しか撃てない小銃が其の主體でありましたが、今日では一分間に數百發の彈丸を打ち出す機關銃が火戰の主體となつて居ります。其の上敵の機關銃や飛行機や又戰車を撃つ各種の火砲を裝備して居る状態でありませぬ。

又砲兵に於きましては大砲の種類及數が増加すると共に發射速度も非常に増えて來ましたため、戰闘に於ける砲彈の消費量、換言すれば使用鐵量が著しく増加したのであります。

尙飛行機や戰車の劃期的の進歩と増加は今茲に申す迄もなく其他多種、多様の軍需品何れも皆概ね之と同様の状態にあります。而して是等多種、多量の軍需品を圓滑に整備補給すること

が現代戦に於ては特に大切でありまして、軍需品の補給が勝敗を決する鍵であると言はれる所以も茲に在るのであります。

翻つて我國が國策遂行の爲に必要な兵力に對して前申しました如き多量の軍需品を長期に亘りまして十分に補給する能力があるかどうかと申しまするに遺憾ながら十分でないのであります。

即ち國內に於ける原料資源も乏しく、生産力も亦十分でないのであります。

換言すれば、長期に亘る軍需品生産の戦時態勢を確立する爲には技術職員及職工、原料、製造設備並に是等の充足に必要な經費の調達に餘程の努力を拂はざるを得ない状態に在るのであります。政府が經濟戦を強調し國民の協力を要望する所以も茲にあるのであります。

固より廣い意味に於ける經濟戦は今回の支那事變聖戰の目的である抗日容共の蒋介石政權を覆滅して眞の日滿支協力提携に依り東洋平和の基礎を建設する爲の經濟的對外内の諸般の施策を意味するのであります。之は主として政府として行ふべきものでありますので本日此處には經濟戦の中で軍需品の整備、補給を圓滑ならしむるための國民としての覺悟及日常實行に勉むべき事項に就て申し述べたいのであります。

凡そ國家總力戰遂行の眼目は軍需を完全に充足するにあることは前にも申し述べた通りであります。之と共に他方に於て國民の生活を確保すると言ふことが必要であります。然るに我が國情は戦争が長期に亘るに従ひ軍需の完全なる充足さへも餘程困難を來すのであります。故

に、軍に於きましては凡ゆる資材に就て其の節用愛護に勉め消費を渺からしむると共に戦力に著しき妨なき限り各種目に亘り規格の低下、代用品の採用を致して居る様な状態であります。即ち國民生活に直接關係ある品物に付て一、二の例を挙げますならば

1. 革製品を麻製品で、又麻がよいところを綿製品で間に合はせるとか

2. 牛皮の代りに水牛皮、豚皮、鮫皮を成るべく多く利用するとか

3. 牛肉罐詰肉の代用として魚、豚、兎等の肉にするとか

斯ふいふ様に戦場に於て若干の不利不便を忍んで已むを得ず實行致して居るのであります。然しながらどうしても戦闘に必要なものは十分に使はねばなりません。

例へば銃砲彈、飛行機、自動車、ガソリンの如き之が整備の爲に國民の日常生活に相當の支障を來すことが判つて居ても勝利を得る爲には絶対に忍ばねばならないのであります。

又國內に不足する原料は金を外國に支拂つても輸入しなければなりません。又必要な生産設備は經費がかつても整へなければならぬのであります。斯くして國防上重要な産業は此の際充分に生産力の擴充強化を圖る事が極めて肝要でありまして、軍需品が不足の爲思ふ様に戦闘が出来ないと云ふが如きことがあつては銃後國民として何とも申し譯がないのであります。又重要資源の尨大なる輸入と共に軍需品以外の生産の禁止制限等の結果、多額の入超は免れぬのであります。之がため爲替相場を維持して對外信用を保つ爲には勢ひ金の現送が必要となるのであります。決済が金で行はれる以上國內に金をもつことが絶対必要になります。

政府が産金を奨励し又、徒らに死蔵されて居る民間の金を高價に買上げて保管しようとする理由は之でありまして、金を政府が握つて置くことが極めて大切であります。

次に戦費の大部分は公債でありまして、本年度は五十數億圓を突破して居ります爲に國民は貯蓄をして公債の消化を圓滑にし戦費の調達に遺憾なからしむると共に、國防上重要な産業に資金を集中し得る様にしなければなりません。

即ち大藏省が本年八十億の貯蓄を國民に呼び掛けて居る所以でありまして、此貯蓄の實行は個人の生活を保障し其の財的基礎を固めますと共に他面財政國策に寄與するものであります。

又貯蓄の反面には消費の節約を實行すべきであります。炎暑百十餘度の酷熱の下に困苦と缺乏に堪へ尊き生命と鮮血とを御國に捧げて善戦健闘して居ります吾が將兵に思を致せば、自分の金銭であるからと申して之を浪費したり、或は國家が使用制限又は禁止をして居る資源を無駄に費すといふが如きは皇國臣民として道義から申しても許されない所であります。

次に物に付て一言致します。

目下の状態に於て特に大切にすべきもの、換言すれば無駄に使ふことを差控へ、又なるべく其の廢品を生かして使ふ様に心掛くべき重要資源の主なるものを挙げれば、鋼、銑、屑鐵、特殊鋼原礦、銅、白金、鉛、亜鉛、錫、ニッケル、アンチモン、水銀、コバルト、アルミニウム、硼砂、石棉、雲母棉、羊毛、牛皮、麻、飛行機用木材、石油、鹽、純ベンゼン、トルオール、石炭酸、タンニン、生ゴム、ヒマシ、工作機械、牛肉、塗料が其の主なるものであります。

さて此等の品物を頭に浮べつゝ我々の日常生活の周圍を見渡しまするとき、些少の注意又は手加減に依つて是等國家の重要資源の消費を減じ或は生み出すことが出来るのであります。

即ち前申しました資源を出来るだけ買はない様にする事、現在持つて居るものを成るべく長く持ちして使ふこと、不用になつたものは之を回収して新たな原料に供することによりまして國全體としての消費量を節約致して緊要なる方面に對する供給を潤澤にし又廢品の回収再生によつて新たな原料を産み出す譯であります。

是等に付きまして極めて手近な二三の例を挙げますれば

1. 消費の節約として鐵材及輸入木材を要する建築を見合せるとか、銅、金、白金、錫、其他重要非鐵金屬の使用を停止するとか、被服、革靴等の新調を差控へるとか、自動車の使用を制限するとか、牛肉を減じて魚を喰べるとか、又は新聞雜誌の頁數を減じて紙を節約するとか、或は又

2. 極めて重要な資源として木綿、綿、毛織物、紙、ゴム、鐵、鉛、亜鉛、錫、銅、眞鍮、青銅、アルミニウム等の古物又は屑などを回収利用するが如き之れであります。

是等の廢品又は屑は何れの家庭にも多少なりとも必ず放置され或は死蔵されて居るものでありまして之に再び生命を與へるといふことは極めて興味ある事柄であり、之が又重要國策に沿ふ所以であるのであります。

總督府に於て今回經濟戰強調週間を設定せられ色々の行事を實踐せられますことは誠に意義

深きことでありまして、軍に於きましても司令部及各部隊を通じ本週間に於て生活の反省、無駄の排除特に消費の節約、貯蓄の奨励等を更に強化致しまして經濟戰遂行の實踐を期して居ります。又國防婦人會に於ては在郷軍人會の指導援助に依りまして古毛布の蒐集、反毛材料（毛織物の古物、屑物をいふ）の回收を實行することになつて居ります。即ち家庭に於て既に不用となり、死蔵されて居ります所の古毛布を寄贈して戴いて、戦地の使用に適するものは之を戦地に送りまして此冬戦友に温き夢を結ばせ、又毛布の儘では使へない程度のもは反毛材料として立派な毛布に仕立直す計畫であります。

之は固より局地的には小さな事業であります。其の意義たるや頗る重大で全國的に實行致しましたならば驚くべき結果を見ること、存じます。

其他廢品の回收再生のために如何なる家庭にもある衣類、家具、器具、玩具、新聞、雜誌、其他有ゆる日用品で最早使用に堪へないものは多少に拘らず必ずあるもので之を蒐めますれば相當大量の國家重要資源が生き還り生れ出るのであります。

是等は極めて些細の様に見えて其實極めて有意義であります。經濟戰と申せば如何にも大規模なもの様であります。個人としては結局是等に利用更正の途を講じますると共に個人生活を緊縮して無駄を少くし、貯蓄を増すことに歸するのであります。

私は此の機會に本島の有識者が臺灣の特殊性に鑑みまして不足せる重要資源の開発に又其の生産擴充に更に一步を進めて邁進せられんことを希望しますと共に、一般家庭の日常生活に於

きましても國策の線に沿ひまして前述べました様な些細の點から注意して舉國一致聖戰の遂行に協力せられんことを熱望して止まぬ所であります。

尙斯く申述べて來ますと我國現下の實情は經濟上最早吾々家庭の一物一品の微に至る迄も出さなければ戰が出来ない様な逼迫した状態であるのではなからうかと云ふ疑問が起ること、存じますが、決してそう云ふ譯ではないのであります。今回の聖戰は單に暴支膺懲に終るのでなく、之に依つて東亞永遠の平和を建設せんとする長期建設戦であります。此の目的達成のためには今後幾年の日月を要するや不明であるのであります。又如何に長期日に亘るとも如何なる困難に遭遇するとも之を遂行しなければならぬ、而して之が吾國民に又吾等の時代に完成しなればならない天與の重大使命であります。之がため今より水も洩さぬ國家總動員態勢に入り長期戦に對應するの準備を要する所以でありまして、現在に於ける我國力は短日月の戰爭にも直ちに破綻を來たすが如き貧弱なものではないと云ふことをくれぐれも申し述べて此の講演を終ります。



### 銃後の護り

臺北州臨時情報部

#### 一 租税の早期完納

内地に於ては今次支那事變勃發以來銃後國民運動として各地に納税愛國運動澎湃して興り市町村、各部落を單位とする租税完納期同盟等の結成を見、其の成績極

めて良好なる由なるが臺北州に於ける事變下の納税成績に就ては州民の納税精神の昂揚と關係職員の不斷の努力と相俟つて躍進的向上を示しつゝあり、今や對支聖戰も既に一周年を迎へ今後戦費は勿論銃後諸施設の爲め國費及地方費等益々多きを要し長期戦時下に於ける租税の徵收に就ては更に一段緊要の度を加ふるべきなるを以て、州稅務當局に於ては戰時財政への協力と其の運行上遺憾なきを期する爲め此際州民に一層納税報國の精神を鼓吹し納期日内完納の美風を馴致するべきとし郡市街庄

と緊密なる連絡を採り大體次の如き實行方法を以て大いに之れが顯現に努め徵税の完璧を期するべきなれり。

#### 要 項

- 一、一般州民に時局に納税に就て説示し一層納税報國精神の啓培に努むること
- 二、租税滞納常習者に對し納期日内完納方注意を喚起するべし
- 三、早期完納に付左記要領の申合及實行を奨励すること

#### 申 合

吾等國民たる者克く現下の非常時局を認識し租税絶對完納の美風を強化し今次事變が如何に長期に亘るも堅忍持久凡ゆる時艱をも克服し納税報國の誠を效さんことを期す。

#### 實行方法

- 一、時局を認識し租税絶對完納を期すること
- 一、郡市・街庄一致納税完納の美風を馴致せしむる爲め、納税貯金組合の擴張を圖り組合未設置及未加入者に對し極力之れが設置加入を慫慂すること

一、指導的立場に在る者(官公署・學校職員・地方有力者其他各種團體員の如き)は特に早期完納を勵行し一般納税者の模範たるべきこと

### 銃後の新竹

新竹州臨時情報部

#### 一 州民の赤心

##### 支那事變一周年記念献金

去る七月事變一周年を記念すべく舉行したる行事中州下の献金高左記の通りにして州民の赤心を如實に物語つてゐる。

支那事變一周年記念實施行事に依る献金

市 都 別	節約献金	記念献金	一戸一品	計
新 市	五、六、八	五、六、八	三、三、三	一、七、〇、九
新 竹 郡	三、六、三	四、五、〇	九、〇、〇	一、七、四、三
中 壩 郡	四、六、五	三、六、六	一、〇、〇	九、三、一

後の保護に関する事項  
一、前號各種恩典を繞る紛議の調停に関する事項  
一、其他の上位に家事萬般に関する一切の事項

### 支那事變に關し

執りたる措置

臺南州臨時情報部

### 二 軍事援護相談所設置

軍人、軍屬、軍夫並に同遺家族の爲に新竹州廳内及新

竹市役所内に軍事援護相談所を設置し、郡部居住者は州

廳内相談所に、市内在住者は市役所内相談所に於て在記

事項に付相談に應じ便宜を供與すること、なれり。

記

- 一、家族並に遺族の戸籍整理に關する一切の事項
- 一、家業の維持經營、授産、就職に關する事項
- 一、傷病兵の温泉治療、其他の醫療に關する事項
- 一、子弟教育に關する事項
- 一、家族並遺族の生活並醫療扶助、助産等に關する事項
- 一、恩給、扶助料、一時賜金等各種恩典の給與又は賜與

桃園郡	五、六七	三、四七	一、二五	一、二七六
大溪郡	二、六六	二、七六	九、九	六、五三
竹東郡	二、六六	五、九二	三、六	九、〇七
竹南郡	二、六六	三、八一	三、五	七、〇二
苗栗郡	九、九七	九、七五	二、五二	二、五九
大湖郡	三、三六	三、九四	一、五	一、〇〇
市役所吏員養成所	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
計	三、八四七	四、四六	一、四三	九、四七

### 一 皇后陛下

御下賜金に依る文鎮の頒布

茲に 皇后陛下に於かせられては支那事變に際し出征  
及應召軍人の遺族並に家族を援護するの目的を以て諸團  
體相協力して之が援護の實を擧ぐる趣聞召され、思召を  
以て御内帑金を下賜あらせられ右御下賜金中より帝國軍  
人後援會臺灣支會に對し金一封を其の筋より傳達ありた  
る趣を以て之が使用方に關し同會總長より依頼の次第あり

十萬州民と共に殿下の御高德を偲び奉り併せて思召の萬  
一に應へ奉ることせり。

### 三 國民心身鍛練運動と行軍の實施

國民精神總動員運動の趣旨に則り心身を鍛練して旺盛  
なる精神力を強靱なる身體を育成すべき目的の下に臺南  
州廳報國勤勞奉仕隊に於ては昭和十三年八月十四日午前  
十時川村隊長以下隊員五百餘名は夫々輕裝にて州廳中庭  
に整列點檢の後川村隊長、鶴中隊長を先頭に四列縱隊に  
隊伍を整へ喜樹海水浴場往復十二杆餘の行軍を實施せる  
が隊員克く泥濘を冒し途中屢々驟雨に遭遇せるも愈々志  
氣旺盛にして一名の落伍者も出さず遺憾なく目的を達成  
せり。

りたるに依り本州に於ては思召を奉戴し飛行機型文鎮を  
謹製の上頒與することとし夫々所管郡守市尹を通じ  
皇后陛下の有難き思召を訓話の上謹みて傳達せしむる所  
ありたり。

### 二 竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下

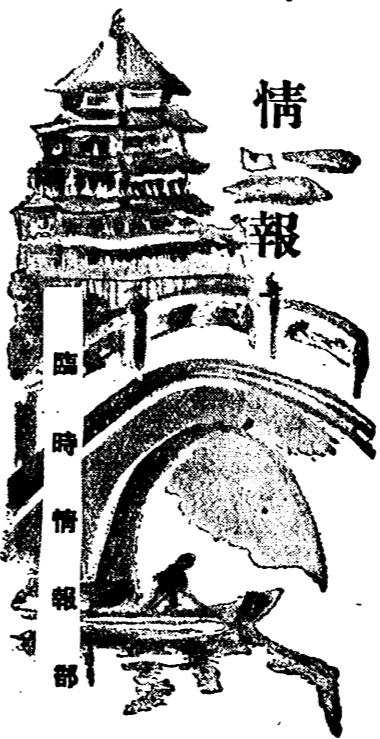
御高德の輯録頒布

時局の緊迫は愈々國民の自發的なる精神的緊張を要す  
るの秋、本州に於ては昭和十三年七月二日、三日、四日  
嘉義及臺南兩市に御成りを仰ぎ奉りし

竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下に扈從したる者、特  
別奉拜の光榮に浴したる者並に統後經營狀況御台覽の際  
特に御言葉を賜りたる者等より其の感想を徴し輯録し普  
く管下に頒布し以て國民精神作興振作の資料に供し百五



# 海外情報



三〇

## 上海だより

### 一 インテリ層の間に燃え上る反蔣熱

中支一帯新政府治下の民衆は去る八・二三記念日をトして大々的に新中國更生運動を起した結果、凡ゆる方面に多大の反響を興へ以來各地に澎湃として反蔣運動が燎原の火の如く燃上り、最近では一様に「我同胞よ我々の維新政府を絶對的に擁護強化せよ」又「我同志よ民衆を苦難の生活に陥らしめた蔣政權を斷乎打倒せよ」等のス

ローガンを掲げて蔣政權覆滅の一日も早らんことを絶叫して居るが、就中蚌埠の有識階級青年は青年政治研究會なるものを組織し、連戦連敗した蔣が黄河を決潰して無辜の民衆を塗炭の苦しみに叩き落してゐるのに痛く憤慨し、遂に反蔣運動にトップを切つたのであるがその勢ひ旺んで瀕死の蔣政權に致命的打撃を興へつゝある。

### 二 上海共同租界と工部局

上海共同租界の行政を司つてゐる工部局は、零落したイギリス人を雇備する點で養老院の渾名がある。工部局

の分類法によればこのイギリス人は、二つのカテゴリーに分けられる。被雇資格を持ち、その警察事務に参加し得るのは、純粹なヨーロッパ系のイギリス人のみで、混血系のイギリス人は敬遠されてゐる。かゝる工部局の現狀に對して責任を負ふべき者は、勿論イギリスの總領事である。彼こそこの養老院ミ化した工部局の統制者である。租界は事實、國際的のものであるがそれは依然名のみである。

工部局がイギリスの支配下にある點については、諸新聞は盛んに攻撃の鋭鋒を向けてゐる。その批難は大體次のやうなものである。即ち純粹のヨーロッパ系のイギリス人居留者の大部分が、工部局によつて生計を立て、ゐるこゝに、日本及びイギリスの兩領事館によつて備入されてゐる警官の数が、その比率に於いてイギリス側に有利なこゝに、イギリス側は、自國の權益の擁護を、自國の企業の發展等の活動に、工部局の豫算を食費に費消してゐるこゝ等がこれである。

工部局の制度の中で最も不當だと思へられる點は、支

那人納稅者達の取扱ひで、最近當地に於て之が改正を企て、ゐる者が非常に多い。共同租界の税金の七十パーセントを支那人が支拂つてゐるにも拘らず、支那人の納稅者達には投票權は與へられてゐない、工部局は當然支那人の支配下に置かるべきだ、支那人であらうと、外國人であらうと、納稅者はすべて投票權を持つべきだ、代表權がなければ納稅の義務もない、共同租界は支那國民に還附さるべきだと言ふのである。

### 三 上海在住の英人の一部

#### 日本との協力を強調

現在上海に於ては或る一部のイギリス人は、日本に對し非常に同情して居り、日本は極東の安定勢力である、故にイギリスは日本と協力して行かねばならない、さもなければイギリスは遂に支那にサヨナラを告げなくてはならなくなるであらうと盛んに強調してゐる。此の一派は少数ではあるが、仲々勢力を持つてゐる。彼等は謂ふ

「一九三二年の上海事件でさへ、それは支那の諸外國、權利の侵害に對する有效な牽制であつた、日本軍の行

動は正當であつた、だから共同租界は十九路軍による損害を免れたのである。事實外國租界の獨立存在の維持は當時非常に困難であつた。だが丁度日本が租界の共同關係者であつたが故にそれもうまく出来たのである。また日本軍の戦勝は英國商人をして之までより以上に確實なる状態の下に取引をせしめた。日本軍の掩護の下に、上海居住者は正常の取引の士氣を復活し、寧ろ上海の發達を侵害する所の純然たる支那の行政の缺點を伴はざる秩序整然たる制度のより好き機會からして利益を得ることが出来るのである。

この現實を認識すれば、日本の支配に、外國の權益の擁護者たる事の恩恵を歸することは當然である。然し乍ら之に對し他の一派はイギリスは支那に於ける日本依存主義を棄てなければならぬと云つてゐる。即ち菓子を食べた上に猶その菓子を保持する（日本との協力により利益を得んとする）と云ふやうな蟲のよい矛盾した望みをすて、しまへと謂ふのである。然し之は可成一本氣な論評で認識不足も甚だしいと云はなければなら

ない。日本が東洋の安定勢力たることは歴史的自明の理である。

### 九江で民衆大會

皇軍感謝、蔣政權打倒を決議

「皇協維新隊」も組織さる

皇軍入城後早くも一箇月を経た九江は、皇軍の献身的努力により今や治安も全く回復し、傳染病の猛威も影を潜め、住民は心から感謝を捧げて居る。この民衆の親日的空氣は日に日に昂まつて維新政府讚美、蔣政權反對の聲となり、遂に二十五日午後同市小學校跡で第一次九江民衆大會が開催され、參集者は男女兒童を混へて二千三百名、皇軍感謝決議、蔣政權の民衆欺瞞、抗日政策の打倒、新中國更生決議を行つた。

一方、眞の東洋平和確立のため五色の旗の下に馳せ參じた支那官民の子弟と敵の投降兵によつて蔣軍閥を倒壊するために組織された「皇協維新隊」は、馮隊長以下一千名、優秀なる裝備の下に連日目覺しい訓練を行つてゐる

### 第七五師の移動事務開始

民衆の笑柄となる

最近の漳州よりの報に據れば茲數日以来漳州方面の住民は相當動搖を來たし人心は戦々競々である。それと云ふのは第七五師司令部及龍溪縣政府は日本空軍の空襲を恐れる餘り一定の事務所を執らずに移動方式を以て今日此處、明日は彼處と云ふ風に移動的の事務を處理して居る。第七五師司令部は詩山に設けてあるが實際詩山には看板と旗を掲げて居るのみで司令部の幹部職員は夫々一つのカバンを携げ内に重要書類を入れて附近の民家で執務して居る。民衆は斯かる状態を見て自國軍隊の人民保衛實力無き事を痛感するに共に一面恐慌を感じ乍らも彼等を嘲笑して居る有様である。



大陸の熱を全身に浴びて訓練中の皇協維新隊

市中を歩武堂々と行進する

★ ★ ★ ★ ★



### 島内

#### 一 基隆新民公會の 廈門皇軍慰問團歸臺

渡厦中の同會慰問團は慰問の目的を果し、到る處に歓迎を受け、或は支那要人ミ語り、或は輝かしき皇軍の戦跡を見學する等一段ミ日華提携すべく感銘を深くした。一行七名は二十三日福建丸にて元氣よく歸臺

したが、團長何鵬は次の如く感想を語つた。

去る十五日厦門に上陸三日間に亘り皇軍初め其他各機關の慰問をなし陸戦隊の御好意により軍用車三臺に分乘各戦跡を見學し陸戦隊員より當時の模様を聞き、斃れて東洋平和の人柱ミなつた諸英靈を弔ひ深き感銘を受け感激の涙に咽んだ。滞在中復興社、治安維持會の各要人ミ懇談を遂げまた南洋華僑ミの座談會をも開催

#### 二 在臺華僑が發起 皇軍慰問金募集

其他奥地並に南洋華僑に對し蔣政權打倒、平和樂土建設の機を飛ばし當局に對しては意見書を提出する等微力乍ら復興事業に協力した。軍部初め各關係方面共一行を喜んで迎へ種々の便宜を與へられたことは光榮に存じ感謝に堪へない次第である。國府は厦門の復興を妨害すべく盛んに逆宣傳をしてゐるが市街建設物は全然破壊されず復興も豫想外に迅速に進み軍官民の緊密な連絡下に警備治安は確保され夜間燈火管制も行はず戦時とは思はれない程新生厦門は樂土化しつゝある。これによつて微力ながら在臺華僑指導に邁進することは東洋平和建設たる我が國策への協力であることを深く感じたのである。



厦門公園に於ける一行

二十四日、臺北新民公會では容會長より六十三名の區長を任命したる後、總公會幹部ミ共に東亞永遠の平和の爲に聖戦を續け居る皇軍將士に滿腔の感謝を捧げると共に黄河決潰に依る難民に救済の手を伸ばすべく在臺四萬餘の華僑に呼び掛け

### 三 金買上に関し

#### 高雄新民公會長黃廣圖の感想

日本政府の金製品買入れ實施は非常に時宜を得て居り金融界の緊迫は之を以て緩和が出来本島人の商賈人に些か資金の運轉を好調ならしめるであらう。死藏金を多量有するものは上流階級位のもので自分等の如きものは左程は持つて居ないが商業資金の一部に充當しようと思つて政府が高價に買入れて呉れるから腕輪、髪飾、耳飾、計八點九十一瓦を臺銀に賣却したが知人にも勧誘して居り漸次銀行を經由して政府に賣却するであらう。云々。

#### 四 白河庄の華僑

##### 金賣却に協力

新營郡白河庄白河在左記華僑は帝國領土内に毎日安居樂業し得たるは皇室の御稔威に依るものに外ならず交戰地帯の本國住民の悲慘なる状態を想ふ時一層感謝に堪へないミ皇恩の萬分の一にも酬ゆる爲今回の死藏金買上

げ運動開始されるや早速自分等所有の金品を白河信用組合に提出して取扱方を依頼した。

岩浪官	二二匁二〇
許意	一三匁四〇
鄭振圖	一六匁七〇
王挺來	九匁一〇

#### 島 一支那富豪

##### 海外に逃避

蔣政權最後の據點武漢三鎮は瀕死の運命に陥つた爲め同地方土著支那實業家及び上海方面より逃避せる資本家連蔣政權に見切をつけて續々漢口より廣東に向ひ廣東より更に巨額の財産を携へたま、海外に逃避する者激増し來つた。重慶來電に依れば國民政府は極力之が防止策を講じてゐるが、更にその効なきたため僑務委員會を開催之等資本家連の國外逃避を嚴重取締るこゝになつた。

## 事変日誌



### 臨時情報部

八月六日

1. 臺北に於ては義に 天皇、皇后兩陛下より御下賜あらせられたる戦歿將兵の在臺遺族に對する祭案料の傳達式行はれたり。
2. 海の荒鷲漢口を大空襲、敵十三機を撃破したる外南支方面にては麗水、玉山飛行場を爆撃せり。
3. 我が九江攻略により狼狽せる國府軍は最近頻りに南潯鐵路方面に兵力を集結中なり。
4. ソ聯軍屢々張鼓峰、沙草峰附近に逆襲し來るもその都度我が軍の爲撃退せられ居れり。

八月七日

1. 海の荒鷲部隊中支戦線に活躍、南昌及び揚子江上の敵艦艇其他を縦横無盡に爆撃せり。
2. モスクワに於て張鼓峰事件に關し第二次會議行はれたり。
3. 最近香港の英國軍は同地を中心に陸海空共同の大攻防演習を行ふに決せる模様なり。

八月八日

1. 我が海軍航空隊は引續き中南支に活躍、敵艦艇並に軍事施設を徹底的に爆撃せり。
2. 蔣介石軍は卑怯にも武穴、黄石港上流に浮流水雷投入の暴舉を敢てせるを以て各國は何れも國際法違反として憤激し居れり。
3. カー英國大使の漢口視察後は一般に悲觀説を唱ふる者多く、したがつて英國の對蔣態度も漸く消極化しつ、あるがこれと同時に最近國府の對ソ態度には一層注目すべきものあり。
4. 國境地方に於ては我が方の隱忍自重の態度にも拘

らずソ聯の不進行爲は益々募り連日大編隊の飛行機を以て我が朝鮮領内に侵入し爆弾投下等の暴舉を敢てせり。

八月九日

1. 完全制空一俤なる哉、我が海の荒鷲：  
イ、吉安(江西省)飛行場攻撃部隊は空中、地上共に敵機を認めず飛行場及び附屬施設を完膚なきまでに爆撃せり。  
ロ、廣東空襲部隊は發電廠其他市内の軍事施設、白雲飛行場、廣九鐵道等を猛爆せり。  
2. 山西南部肅清の我が軍は臨晉縣城を占領更に附近一帯を清掃しつ、あり。  
3. ソ聯は本日日没頃より戦車、山砲機關銃を有する約二箇大隊の兵を以て張鼓峰方面に數回執拗なる反撃を試みしも我が軍悉く之を撃退せり。  
4. 蔣介石は漢口殘留市民五十萬に對し八月十五日迄に全部撤退するやう命令を發せるを以て市内は名狀すべからざる混亂に陥れり。

八月十日

1. 山西南部の我が掃蕩戰は黄河の線一帯に互り急速に進展しつ、あるを以て全省確保の日も間近に在り見られ居れり。  
2. 九江陥落に狼狽せる蔣介石は頻りに武漢防衛陣地の擴大強化を圖り今や九江方面より南昌、長沙、漢口に到る山嶽地帯は一大堡壘ニ化しこれに配備せる兵力も四、五十萬に稱せられ居れり。  
3. 張鼓峰事件に關する重光、リトヴィノフ第三次會談の結果十一日正午を期し双方戰鬥行爲を停止すべき旨の協定成立せり。

八月十一日

1. 畏くも天皇陛下には横須賀海軍航空廠並に木更津海軍航空隊に初の行幸あらせられ海の荒鷲の偉容に訓練を親しく御覽遊ばされたり。  
2. 我が海軍航空隊は大舉漢口を空襲敵に多大の損害を與へたる外南支に於ては梧州飛行場並に粵漢鐵道を爆撃せり。

3. 長大佐、シュテルン大將(ソ聯極東方面軍參謀)張鼓峰方面ソ聯軍陣地内に於て會見の結果停戰の現地協定成立せり。

4. 日ソ停戰協定成立の結果歐米各國は何れも我が國の態度を賞讃しつ、あるもこれに反し國府の失望落膽は想像に餘りあるものあり。

八月十二日

1. 海の荒鷲再度武漢三鎮の空襲を敢行せるも殘敵一機の出現するものなく全機無事悠々歸還せり。  
2. 敵重爆撃機五機九江に飛來爆弾を投下し去らんこそるも我が海軍機のため全部鄱陽湖西岸に撃墜せられたり。  
3. 中支戰線に赫々たる武勳を輝かせ勇名を馳せたる我が郷土部隊長佐藤少將歸還せり。  
4. 蔣介石は漢口の大會戰を控へ我が軍の兵力分散を企圖し蒙疆を含む北支一帯に大規模の遊撃戰を指導しつ、あるも我が北支各部隊の爲め各所に撃破され意外に劣弱なるこゝを爆路しつ、あり。

5. 張鼓峰事件に關する第二次現地交渉行はれたり。

八月十三日

1. 八、二三記念日に當り我が海軍航空隊は中南支に大活躍をなし完全に制空權を把握し悠々歸還せり。本日の主なる爆撃地點左の如し。  
武漢三鎮—陽新—南昌—黃州—蕪湖—玉山—寧波—麗水—吉安等  
2. 日ソ兩當局の第三次現地交渉の結果兩軍占據地の劃定を終へ正式停戰協定に署名夫々平穩裡に後退せり。  
3. 八、二三記念日の上海に於ては南市、浦東、蘇州河岸各地に五色旗翻翻し翻り維新政府の育成に依り更生の意氣に燃ゆる民衆の「打倒蔣政權」の大示威運動行はれたり。  
4. 國民政府は不法にも我が國との間に條約により取極められたる漢口日本租界の權益を蹂躪し一方的に回收の暴舉を敢てせり。

八月十四日

1. 渡洋爆撃記念日！

我が海軍航空隊の武勳香し！聖戦史に燦たり！

2. 海の荒鷲中支戦線に活躍香山南東方の敵砲兵陣地  
及集團部隊を爆撃せる外南支に於ては粵南線各所を  
爆破多大の成果を納めたり。

八月十五日

1. 張鼓峰事件に關し 畏くも天皇陛下には參謀總長  
宮殿下に對し優渥なる御言葉を賜りたり。

四〇

2. 我が海軍航空隊は敵の虚を衝き大舉漢口を空襲多  
大の損害を與へたる外南支に於ては粵漢、廣九兩鐵  
路を爆撃せり。

3. 我が軍は今回の事件發生地たる張鼓峰を「正勇山」  
と改稱するこゝせり。

4. 廣西政府は最近我が漢口作戰の進展に伴ひ俄に梧  
州の軍事施設を急ぎつゝあり。

昭和十三年八月二十九日印刷  
昭和十三年九月一日發行  
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地  
印刷人 加藤 豊吉

印刷所 臺北市京町一丁目四十三番地  
小塚本店印刷工場